

第48回バトントワーリング全国大会 日本バトン協会関東支部推薦 審査及び推薦方法について

【日時】2020年10月24日(土)10:00~17:00

【会場】国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟303

1. 審査員一覧

審査員長 片山 恵
副審査員長 古谷野 千代子、田中 よりこ
審査員 飯島 みゆき、和田 昌美

2. 審査員長・副審査員長の業務

(1) 審査員長

- ・審査全般の最終確認、審査選考を円滑に遂行する。
- ・推薦要項の『1. 参加資格』『2. 構成と編成』『3. 演技』を審査する。

(2) 副審査員長

- ・審査員長を補佐し、審査選考を円滑に遂行する。
- ・推薦要項の『2. 構成と編成』『3. 演技』を審査する。
- ・審査時間の計時を行う。
 - 中学校・U-12・U-15 ⇒3分00秒過分5秒
 - 高等学校・U-18・OPEN ⇒3分30秒過分5秒

3. 審査員の業務

(1) 全国大会選考を必要とする部門の審査員は5名、必要としない部門の審査員は3名とする。

(2) 「第48回バトントワーリング全国大会 日本バトン協会関東支部推薦要項」に基づき、「全体的効果」「作品完成度」「パフォーマンス」を総合評価し、推薦する団体を投票にて決定する。

(3) 審査時間

- ・使用曲の第1音から最終音までを審査時間とする。

(4) 新型コロナウイルス感染拡大防止対応演技基準

① 距離

- ・演技者間の距離は2m程度確保することを基本とする。
- ・背中合わせ・横並び・顔の向きが同方向の場合は1mを目安とする。
- ・手をつなぐ、体の一部を触るなどの行為は行わない。

② 他の演技者の手具は触らないことを原則とする。

- ・手具の交換(エクスチェンジ等)は行わない。
- ・トゥーバトン、スリーバトン等を行わない。
- ・演技中、他のメンバーのドロップした手具は拾わない。

(5) 手具編成における詳細及び定義

《手具》 バトン・ボンポンを含め演技者個人が容易に携帯でき、自らが用いて演技するもの。

< 学校部門 >

- バトン編成・・・1人1本のレギュラーバトンを使用すること。但し、演技において複数本の使用は可とする。
器物・特殊効果の使用は不可とする。
- ポンポン編成・・・1人1組(2個)のボンポンを使用し、ボンポン演技を主とした編成であること。
レギュラーバトンの使用は小学校・中学校の部は可、高等学校・大学の部は不可とする。
器物・特殊効果の使用は不可とする。

<一般部門>

- バトン編成・・・1人1本のレギュラーバトンを使用すること。但し、演技において複数本の使用は可とする。
器物・特殊効果の使用は不可とする。
- ペップアーツ編成・・・2種類以上の手具を使用し、ペップアーツ演技を主とした編成であること。
レギュラーバトンの使用は可とする。但し、ペップアーツ演技を主とした編成であること。
国旗及び器物・特殊効果の使用は不可とする。

4. 成績・表彰

(1) 成績

- ・各部門において全審査員の投票とし、全国大会推薦枠に従い成績優秀団体を全国大会に推薦する。

(2) 表彰

- ・全国大会推薦団体には、推薦状を授与する。

5. 全国大会への推薦枠

<学校部門>

・小学校	バトン	0 / 0団体	ポンポン	0 / 0団体	
・中学校	バトン	6 / 11団体	ポンポン	0 / 0団体	
・高等学校	バトン	16 / 29団体	ポンポン	2 / 2団体	
・大学	バトン	0 / 0団体	ポンポン	0 / 0団体	出場数計 42団体

<一般部門>

・U-12	バトン	5 / 5団体	ペップアーツ	0 / 0団体	
・U-15	バトン	3 / 3団体	ペップアーツ	1 / 1団体	
・U-18	バトン	3 / 3団体	ペップアーツ	0 / 0団体	
・OPEN	バトン	4 / 4団体	ペップアーツ	1 / 1団体	出場数計 17団体